

図書館だより

2023. 4

牛久栄進高校図書館

4月も残すところわずかになってきました。1年次の生徒の皆さんも、だいぶ栄進高校での生活にもなじんできたのではないのでしょうか。オリエンテーションでは、図書館の利用方法についての簡単な説明のみでしたが、早速図書館へ本借りに来てくれた生徒もいましたね。読書の習慣は高校生活を豊かにしてくれるはず！ぜひ積極的に図書館を活用してください。

2・3年次の生徒の皆さんも読書はもちろん、学習スペースとしての図書館を有効活用しましょう！特に、3年次の生徒の皆さんには、小論文対策として読んでほしい本がたくさんあります。まずは、図書館に来て本を手にとってみましょう。皆さんの来館をお待ちしています！

◎「朝読・朝学のすゝめ」

7:30 開館

◇2023本屋大賞

毎朝十数名の生徒が図書館で読書や学習に励んでいます。まだ席に若干の余裕があります。あなたも「朝読・朝学」を始めてみませんか？朝の凛とした空気の中で集中して読書・学習に取り組んでみよう！



大賞	『汝、星のごとく』	443.5 点
2 位	『ラブカは静かに弓を持つ』	388 点
3 位	『光のところにいてね』	337 点
4 位	『爆弾』	307.5 点
5 位	『月の立つ林で』	254.5 点
6 位	『君のクイズ』	244 点
7 位	『方舟』	232 点
8 位	『宙ごはん』	225.5 点
9 位	『川のほとりに立つ者は』	224.5 点
10 位	『#真相をお話します』	86.5 点

汝、
星のごとく
風良ゆう

ラブカは
静かに
弓を持つ
安壇美緒

光の
ところに
いてね
一穂ミチ

図書館では毎年、ベスト3予想の投票を行っています。残念ながら今年も完答はありませんでしたが、1位ピッタリ！の方が1人いました。予想的中、おめでとうございます！

現在貸出中が多い受賞作品ですが、予約もできますのでぜひ手にとってみてください。

大賞『汝、星のごとく』は、瀬戸内の島に暮らす男女の高校生の恋愛と成長を軸にした物語です。

著者の風良（なぎら）ゆうさんは、2020年の「流浪の月」に続いて二度目の本屋大賞受賞となりました。4月12日の受賞スピーチは、本屋大賞の公式ホームページの「2023年本屋大賞 結果発表！発表会中継ダイジェストはこちらから」で視聴することができます。右下のQRコードから本屋大賞の公式HPにアクセスできますので、興味のある方はぜひ視聴してみてください。

風良さんは、前回の3年前の本屋大賞受賞の発表当日が緊急事態宣言に重なり、会場にたどり着けなかったことを振り返り、応援してくださった方にお礼が言えなかったことを悔いていると述べていました。コロナ禍で制限が多かった3年間、そして少しずつコロナ禍以前に戻りつつある現在。「生きることの自由さと不自由さ」を描く風良さんの今回の受賞作品『汝、星のごとく』は、この不透明な時代に、前を向いて進んでいくための指針の一つになるのではないのでしょうか。



☆風良ゆうさんの他の作品もいかがでしょう。本校図書館にあります。

『流浪の月』（東京創元社）

『滅びの前のシャングリラ』（中央公論新社）



こちらは翻訳小説部門。作品は注文予定です。

1 位 『われら闇より天を見る』 (原題: We Begin at the End)	われら 闇より 天を見る クリス・ウィ タカー (著) 鈴木恵 (訳)	プリズム ソン・ウォン ピョン (著) 矢島 暁子 (訳)	グレイス・ イヤー 少女たちの 聖域 キム・リゲット (著) 堀江里美(訳)
2 位 『プリズム』 (原題: 프리즘)			
3 位 『グレイス・イヤー 少女たちの聖域』 (原題: Klara And The Sun)			

◇新着本紹介 このほかにも部活動関係の本が多数入りました！

森田 果 『法学を学ぶのはなぜ？』	片田敏孝 『人が死なない防災』
香山リカ 『知らずに他人を傷つける人たち』	大原悦子 『フードバンクという挑戦』
佐藤俊樹 『不平等社会日本』	筒井淳也 『仕事と家族』
京極夏彦 『書楼弔堂』 炎屋・待宵	下条信輔 『〈意識〉とは何だろうか』
石井淳蔵 『マーケティングを学ぶ』	梶岩奈々 『感じない子どもころを扱えない大人』
的場明弘 『大学生に語る資本主義の200年』	大平 健 『やさしさの精神病理』
斎藤一久 『高校生のための憲法入門』	中村雄二郎 『共通感覚論』
山田昌弘 『希望格差社会』	滝川一広 『「こころ」の本質とは何か』
内田 樹 『ひとりでは生きられないのも芸のうち』	池田晶子 『私とは何か』
姜尚中 『ニッポン・サバイバル』	吉本隆明 『読書の方法』
筑紫哲也 『若き友人たちへ』	鷲田清一 『てつがくを着て、まちを歩こう』
斎藤 孝 『コミュニケーション力』	『じぶん・この不思議な存在』
稲垣栄洋 『はずれ者が進化をつくる』	森 博嗣 『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』

◇図書館ルール確認！！

- ・開館 月～金 8：30（開錠7：30）～17：00 ※入り口「本日の開館時間」確認のこと
- ・冊数 23冊まで ・期間 2週間まで（長期休業時は始業時に返却）
- ・借り方…カウンターで「年次/組/番号」を告げ、借りたい本を出しコンピューター処理を受ける。
- ・返し方…借りた本をカウンターに返却する。直接書架に戻さないでください！！
- ・リクエスト…カウンターのリクエストカードに記入するか、右のFormsに入力。

館内ルール

- ①入館・退館時は手指消毒をしましょう。私語厳禁。静かに利用しましょう
- ②退席時は、消しゴムかすを片付け、椅子を中に入れ、ゴミを残さない。
- ③荷物は手元におく。長時間置きっぱなしはご遠慮ください。
- ④ふた付きで水滴がつかない状態(水筒・カバー付きペットボトル)での飲料の持ち込み・水分補給は可。

ペットボトル・缶飲料を

そのまま持ち込むのは不可。

- ⑤学習以外のスマホ操作は館外で。



寺田先生：実家に帰ったとき、ダイニングのテーブルの上にあった母親が読みかけたと思われた本。面白そうな題名だったのでちょっと拝借して一気に読みた。「人生100年」と言われるが、この書籍の著者はエリートサラリーマンからスタバの店員になり、素晴らしい仲間に恵まれ、64歳から人生をやり直したという「働くことを通して幸せを手にする物語」。英語版も難しい単語はなく、オーディブルなどで「耳読」するのに最適です。コーヒーと共に、「人にとって本当の幸せって何？」と考えたいときにいかがでしょう？

◇図書館部紹介 ○図書館にあります

- 小林悟（司書室・地歴）最近読んだ本『クジラアタマの王様』（伊坂幸太郎）○
- 寺田（1年・英語）お薦めの本『ラテに感謝～How Starbucks Saved My life～』（マイケル・ゲイツ・ギル 訳：月沢李歌子）
- 湯原（1年・地歴）お薦めの本『夜のくもざる』（村上春樹）
- 岡澤（2年・国語）最近読んだ本『エリザベス女王の事件簿 バッキンガム宮殿の3匹の犬』（S.J.A ネット 訳：芹沢恵）
- 田島（1年・書道）最近読んだ本『思わず考えちゃう』（ヨシタケシンスケ）○
- 倉持（3年・数学）お薦めの本『ローマ人の物語』（塩野七生）
- 羽田（3年・英語）お薦めの本『美術の物語』（エルンスト・H・ゴンブリッチ）
- 有賀（理科・家庭科）お薦めの本『放課後の音符』（山田詠美）○
- 波田（司書室）最近読んだ本『宙ごはん』（町田そのこ）○

